



高専通信

2013/07

Vol. **8**

TOYAMA National College of Technology

☑ CONTENTS

- 02 校長・副校長ご挨拶
 - 03 富山高専ヘッドライン「平成25年度入学式」
 - 04 新入生を迎えて
 - 06 新入生の声
 - 08 専攻科レポート
 - 09 日本で学ぶ ～外国人留学生から～
 - 10 学生会活動
 - 12 学生寮から
 - 14 新任教員紹介/学級担任一覧
 - 15 News & Topics
- 編集後記



Greetings

校長・副校長ご挨拶



ご挨拶

校長 石原 外美

旧年に属しますが、皆様は探査機「はやぶさ」の話題を覚えておられるでしょうか。「はやぶさ」は、小惑星「イトカワ」の表面の物質を採集するために、数々のトラブルを乗り越えて、7年間の長い年月を経て、使命を達成し地球に生還しました。このニュースは、経済不況にあえぐ当時(2010年)の日本人に明るい希望をもたらしてくれました。この「はやぶさ」の事例は、これから、ご子息・ご令嬢が学ぶ学問の本質を示しているものと考えられます。

高専で学ぶ学問は、物理や数学などのように正解が1つある問題ばかりではありません。むしろ正解がない問題の方が、社会に出て直面する問題です。このような問題を解決するには、全体を俯瞰し、多面的に粘り強く物事を考えることが必要となります。専門知識ばかりではなく、人文学・社会学などの幅広い知識も必要となります。また、「はやぶさ」の例が示すように、予期しない事件に遭遇しても、これにめげず解決し、やりぬく気力、並びに体力が必要です。また、グローバル社会で活躍できる能力も重要です。

高専は勉強するだけのところではありません。人間形成を図る上で大切な、クラブ活動やサークル活動が沢山あります。寮に入る人には寮での共同生活があります。

私共教職員は、ご子息・ご令嬢の勉学と人間形成をしっかりサポートして参る所存です。本校の教育活動に対し、変わらないご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



世界に翔け 高専生

本郷キャンパス副校長
丁子 哲治

高専制度が創設されて半世紀を経ましたが、統合再編後の富山高専は、これから未来の半世紀に向けて社会の変革に対応しながら進化し続けています。その進化のひとつにグローバル化があります。富山県内の産業界ですらしっかりグローバル化しており、世界で活躍できる技術者を求めています。グローバルに活躍できる技術者とは、単に英語が話せることではありません。世界に通用するイノベーション力が重要です。高専の5年間、さらに専攻科の2年間に海外留学や海外インターンシップなどの機会があります。キャンパス内には留学生がいます。また、何人もの短期留学生が度々来校しています。さらに、これからは海外の研究者がやってきて講義をすることもあります。このようないろいろなチャンスを捉えて、どんどんグローバルなチャレンジをしていただきたいと希望しています。保護者の皆様方にはそのような学生を温かく応援して下さるようお願いいたします。



毎日の授業を 大切に

射水キャンパス副校長
成瀬 喜則

新年度を迎え、新入生は新しい環境の中で毎日充実した生活を送っています。また、在校生は、さらなる飛躍をするために目標を立て、それに向かって努力しています。

高専では、将来、社会で活躍できる人材になることを目標としています。授業で基礎的な知識を身につけ、多くの実験・実習や演習を通して技術力や分析力を高め、本科での卒業研究や専攻科での特別研究を通して研究する力をつけています。

いきなり高い技術と知識が身につくわけではありません。日頃の授業や実験・実習に積極的に取り組み、課外活動で汗を流す、そのような生活を通して少しずつ成長していくのだと思います。

「ローマは一日にして成らず」と言います。どのようなすぐれた成果もすぐには出ません。1日1日を大切にしていって取り組んでいく。そのような姿勢を持ち続けることによって将来大きく羽ばたくことができます。

1年間でどのように成長できるか楽しみにしています。



平成25年度
入学式

Entrance Ceremony

**平成25年度入学式
新しいキャンパス生活がスタート**

4月4日、平成25年度入学式がオーバード・ホールにおいて挙行され、本科生228名、留学生1名、専攻科生38名の計267名が入学しました。

石原校長からは「「創意・創造」「自主・自律」「共存・共生」の教育理念のもと、4期生として誇りを持ち、新高専の歴史に素晴らしい足跡を残してくれることを期待しています」と式辞が述べられました。

続いて新入生を代表して、国際ビジネス学科の瀬美井佐和子さんが、「この学校で専門知識や技術、

ものの見方や考え方を身につけ、幅広い分野から、社会がよくなるように働きかけられる存在になりたい。そのために、何事も素直に、積極的に学んでいきたい」と、また、専攻科新入生を代表してエコデザイン工学専攻の松井大樹さんが、「技術者・専門家に必要な研究・開発の能力を向上させ、さらには社会人として必要な倫理やグローバルな視野を身につけて、社会に貢献できる人材になれるよう、日々精進し続けたい」と、力強く誓いの言葉を述べました。

平成25年度新入生数

学科新入生	229名
機械システム工学科	33名
電気制御システム工学科	39名
物質化学工学科	39名
電子情報工学科	42名
国際ビジネス学科	37名
商船学科	38名
外国人留学生(3年次編入)	1名
専攻科新入生	38名
エコデザイン工学専攻	23名
制御情報システム工学専攻	10名
国際ビジネス学専攻	5名



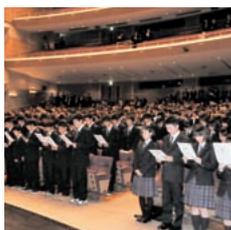
国際ビジネス学科
瀬美井佐和子さん



エコデザイン工学専攻
松井大樹さん



石原校長式辞



校歌斉唱

新入生を迎えて Welcome to Toyama Kosen!!



本郷キャンパス

「プラシーボ効果」を目指して

1学年主任

長谷川 貴之

新入生・保護者の皆さん、ようこそ富山高専へ!

医療の分野で「プラシーボ効果 (placebo effect)」と呼ばれているものがあります。日本語に訳すと「偽薬 (ぎやく) 効果」です。本来薬理的効果がないはずの物質 (生理的食塩水など) を患者に投与する際、「効く薬だよ」と伝えておくだけで、病状の改善が認められることがあります。実際に偽薬は、鎮痛薬として使われ、多くの患者が痛みから救われています。「本当に効いているの?」、「関係者一同だまされているのでは?」とお思いかもしれませんが、証拠があります。ナロキソンという物質を使ってみます。これはモルヒネやエンドルフィンのような本物の鎮痛薬の作用を妨げる作用があります。このナロキソンをこっそり投与しておく、何と偽薬でも同じく、痛みが減らなくなります! 偽薬は本物の鎮痛薬のように、脳内の鎮痛系をしっかりと活性化させていたのです。

私も生理的食塩水のように、あまり出しゃばらず、プラシーボ的に担任の先生方をサポートできる主任となることを目指したいと思います。



本郷キャンパス

高専生としての誇りを持って

電気制御システム工学科担任

河原 治

昨年に引き続き、今年も1年生の担任をさせていただけることを光栄に思います。1年生の担任をしていますと、時々、高専と高校を同じように考えている学生がいることが気にかかります。改めて言うまでもなく、高専は大学と同じ高等教育機関であり、中等教育機関である高校とは違います。例えば、そこで学ぶ人のことを、高校では「生徒」と呼び、高専・大学では「学生」と呼びます。我々教員は「君たちは学生である」という言い方をよく使いますが、そこには「学生とは、自ら学び、自ら判断をする自主性を持つ者である」という思いが込められています。本校に細かな校則が少ないのは、学生として、そして高専生としての誇りを持って、自ら判断し行動してほしいという理念からであって、決して校則がゆるいわけではありません。また、高校とは違って、高専では必要な単位が取れないと留年します。だからこそ、早いうちに、自ら勉学に励むという姿勢を持つことが大切です。1年生諸君には、ぜひ、富山高専の学生であるという自覚と誇りを持って学生生活を過ごしてもらいたいと思っています。



本郷キャンパス

新入生を迎えて

機械システム工学科担任

日比 端洋

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。と言ってもすでに数カ月が経過しようとしています。入学当初は、授業においても学校生活においても中学校とは異なる環境で戸惑った学生も多いのではないのでしょうか。高専は、1年生から学生と呼ばれ、先生方が何から何まで指示を出してくれるわけではありません。アンテナを高くして、自分で、あるいは仲間を通して様々な情報を収集し、整理し、判断して考えて動くこと“考動”する力を身につけてください。間違ったら修正すればよいのです。

また、授業の進度も速いので、1日でも欠席すれば自分にとって大きなマイナスとなります。部活動等にも積極的に参加し、生活のリズムをつくり、心身ともに鍛えてください。低学年のうちに基本的な生活習慣、学力を身につけ、今後の5年間の高専生活を有意義なものにしてほしいと思います。君たちが将来社会に出て活躍することを楽しみにしています。



本郷キャンパス

新入生の皆さんへ

物質化学工学科担任

津森 展子

新入生の皆さん、これを読む頃にはもうだいぶ高専生活にも慣れてきていることでしょう。そして授業や部活動や寮生活も、しんどいと思いつつもそれなりに楽しんで毎日過ごしていることでしょう。私は現在の5年生の先輩が1年だったときに彼らの担任をしていました。彼らも入ったばかりのころは、5年生なんてまったく遠いことだと思っていたわけですが、はっと気がつけばもう目の前に卒業のゴールが見えてきているわけです。彼らはいま進路を考えるにあたって、この5年間で自らが得たもの、培ってきたものを集計しています。学業に精を出した人、部活で素晴らしい成績を収めた人、自分の好きな道を一生懸命突き進んだ人は、編入試験や就職試験の面接で語る言葉を持っています。

1年生の皆さん、あなたはこの5年間に何をしたいですか? 何を極めたいですか? こうしているうちにどんどんと時間は流れていきます。卒業するときに後悔しないように、今しかできないことを成し遂げてください。



射水キャンパス

明るく元気よく、 挑戦・切磋琢磨！

1学年主任
金子 龍一

私の教師生活も終盤に来て、学年主任を仰せつかり、まずは、びっくり!でも、フレッシュな新入生に接して俄然やる気が出てきました(新入生ありがとう)。

まずは、高専生として学校生活をスムーズにスタートすること。次に本郷キャンパスとの新入生合同合宿を成功させることを当面の目標として、学年会をして学年経営方針や役割分担などの意思統一を図りました(活発積極的!)。

体育の授業が私の担当なので毎週1年生全員に会えます。各クラスの級長の掛け声も大きくてみんなキビキビと動いています(全員の体力は今からです)。

そして、学年集会では、岡本実行委員長の「本郷に勝つぞ!」の気合の入った声で始まり、校歌の合唱練習では、指導を引き受けてくれた学生会長のもと元気よくやってくれて合格点をくれました(いぞ楽しくなってきた!)。

次に要項もできて「さあ行くぞ!」という時に、家に不幸があり行けないことに(残念無念)。「楽しかったです。成功」という実行委員長の声に一安心。

学年を預かって、明るく元気よく勉強やいろんなことに挑戦して、充実した青春を送ってくれることを願っています。よろしくお願いします。



射水キャンパス

何をなすべきか (自省と自戒を込めて)

国際ビジネス学科担任
横田 数弘

「こんな時代」だからこそ、学生のみなさんには、じっくりしっかり考え抜いてほしい、そう願っています。事物・事象や「善く生きる」ことについて、深く掘り下げて思考する機会をつくってもらいたいです。眼前の課題を処理するのに手一杯で、時間的精神的余裕なんて持てない、という人が多いかもしれませんが、厳しい現実に向き合うためにも、納得できる答えを自分の手で紡ぎ出せるよう、沈黙黙考できる時間と場を日常的なかに確保していただきたいのです。

将来の夢を実現させるため、具体的に準備・行動することも「今のうち」にやっておかねばなりません。理想や志を高く掲げて努力する者は必ず報われます。見た目さえ、形だけ整えればよい、という考えでは駄目です。一所懸命に中身を充実させようとするからこそ、道が開けるのです。たとえ、逆境にあっても、強く、朗らかに、しぶとく、進んでいきましょう。不器用でも、他者からの評価が低くとも、とにかく、困難をものともせず、ゆっくりとでも前に向かって歩み続けることが大事です。あきらめないことが肝心です。



射水キャンパス

今、そして未来

電子情報工学科担任
篠川 敏行

「この授業は将来何に役立つのですか」と聞く学生がいます。将来役立つとは何でしょうか。今が将来に続きますが、将来が今決まっているわけではありません。将来どこで役立つかわからないから学ぶという立場です。実社会に出た場合の基礎となることの方が多くと思います。基礎となることを学ぶことは自力で行うことはかなりの苦痛をとまいません。謙虚に、学ぶことがありがたいと思い、苦手な勉強でも努力しておくことが大事です。

いま・ここで満足しないでほしい。明日を夢見て今で満足しないでほしい。しかし、時には今を見つめ直すことも必要です。人は時の中を生きています。今があるから明日がきます。夢見る明日を実現したいならば、今を大事に使わなければいけません。でも、失敗も成功も次のステップとしては大事なことです。

「あのときもっとやっておけばよかった」ということよく聞きますが、今できる最高のことを貪欲にして未知なる未来を夢見ましょう。



射水キャンパス

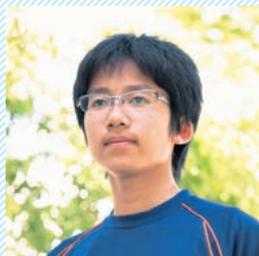
夢実現への道を切り開く

商船学科担任
大橋 千里

入学式前日に商船学科1年38名全員の自叙伝に目を通したとき、たくさんの夢あふれる言葉に身の締まる思いを感じました。私は今こうして体育教員として本校に勤務していますが、私が「将来は体育の先生になる!」と心に決めたのは小学校2年生の時でした。それから教員採用試験に合格し、晴れて体育教員になるまでに21年もの歳月が流れていました。幼い頃に描いた夢を実現することは決して容易なことではありませんでした。何度も諦めようとしたこともあります。しかし、私の意志が変わらないように両親や中学校、高校の先生方、そして大学の恩師はいつも励ましの言葉をかけてくださったり、進路を決定していく上でたくさん支援してくださいました。これから学生のみなさんが過ごす富山高専と航海訓練所での5年半は長いようで短いものとなるでしょう。自叙伝に綴った夢を現実にするために、常に高い目的意識を持って日々を過ごしてほしいと思います。そしてたくさんの人たちに自分の夢を語ってください。きっと、夢実現への道が切り開かれていくはずです。

新入生の声

Students' Voice!!



富山高専に入学して

機械システム工学科
林 拓実

僕が高専の授業を初めて受けて思ったことは、予想していたよりも、中学校とは大きく違った内容の深さでした。第1回の授業の予習の時点で、“自分は高専の授業についていけるのか”と不安な気持ちになりました。しかし、周りの同級生を見ていたり、話を聞いたりすると同じような悩みを持っている人がほとんどでした。そこで、“自分たちのわからないところをお互いに教えあおう、それがこの高専でまず大切なことだ”と気づきあいました。そして、高専に入学して2週間もするとお互いに授業でわからないところを正直に言いあい、助けあおうという雰囲気を作ることができました。

この学校は、5年間同じクラスで過ごすことになります。同じクラスであるから、同級生、仲間との絆を深くすることができること、そしてこれが何よりも喜ばしいことであると感じています。富山高専に入学して本当によかったと思います。



富山高専に入学して

電気制御システム工学科
笹川 大輔

僕は、中学の頃、同級生が僕も含めて4人でした。だから、たくさんの同級生と学校生活を過ごすことがとても不安でいっぱいでした。最初は、人数の多さに圧倒され、話しかけることができませんでした。そんな中「ものづくり」の授業で、今、富山高専生に求められているものは、コミュニケーション力だという説明を聞きました。自分から話しかける、進んで話し合うことが今の僕に必要なことだと感じました。それから学校生活では積極的に話しかけることを心がけました。相手の特徴や自分との共通点を見つけて話すと、相手と自然に楽しく会話ができました。

まだ、そんなに仲良くではないと思うけれど、勇気を出して話しかけてもっと仲良くなりたいと思います。また今回わかったことを活かしてコミュニケーション力を高めていきたいと思っています。



富山高専に入学して

物質化学工学科
旦暮 茉莉

私は、将来環境にやさしい材料をつくる仕事に就きたくて、物質化学工学科に入学しました。将来のために知識をつけるというのはもちろんのこと、充実した高専生活を送りたいと思っています。そのために2つの目標を立てました。

1つ目は、勉強と部活動の両立です。勉強は、先生方や先輩方から何度もたいへんと言われました。また「学生」であるから自主的に勉強に取り組んでいかなければならないとも思います。技術や精神をさらにのばせるよう1回1回の授業や部活動を大切に、目標をもって取り組みたいと思います。

2つ目は、コミュニケーション力を身につけることです。ものづくりの授業などで多くの人と話して、お互いにしっかり理解しあうものごとに取り組むことで、コミュニケーション力を高めていきたいです。

この2つの目標を達成できるように、積極的に行動していきます。



能登合宿研修（食事風景）



決意

電子情報工学科
村島 優斗

中 学校を卒業し、迎えた4月。私は、期待に胸を膨らませ富山高専に入学しました。入学して約1カ月経った今も本当に高専に進学を決めてよかったと思います。

入学当初、人間関係、勉強、部活動など様々な新しい環境に馴染むことができるか大きな不安をかかえていました。今も90分授業や本格的になってきた部活動など慣れないことも多くあります。しかし、日が経つにつれ、クラスの仲間も打ち解けていき、クラスメイトのことがわかったり、先生方、先輩方の温かい優しさに触れることができたりと、楽しい高専生活を過ごすことができます。

私たちはこれから5年間多くのことを学びます。その中で幾多の困難があると思います。それは、学問的なこと、精神的なことかもしれません。どちらにしても今のよき仲間と協力しあい、また今持っている新鮮な気持ちを思い出して、5年間を通し、世界へと羽ばたけるような人間へと成長していきたいと思っています。



学び、得た能登合宿

国際ビジネス学科
田口 穂乃佳

岐 岐阜県高山市立丹生川中学校から、この富山高専に入学しました。受験勉強に左右されず、専門的な学習に打ち込めることが、高校にはない魅力で、大きな決め手になりました。

5月13・14日には、国立能登青少年交流の家で、両キャンパス合同の新入宿泊研修が行われました。私は実行委員として参加し、イブニングタイムでの学校紹介を任されました。本郷キャンパス、そして他校の方もいる中で学校紹介はとても緊張しましたが、クラスメイトや先生方に助けってもらいながら射水キャンパスの魅力を伝えることができました。

両キャンパスの学生が入り混じって行う体験学習では、カッターを選択しました。最初はほとんどの人が全くの初心者でしたが、2時間ほど練習したら、前にも後ろにも進めるようになっていました。普段はあまり会うことのない本郷の学生の友達もできて、本当にいい経験になりました。

最初は慣れない環境で、何をすることも不安でしたが、この合宿ではたくさんのことを学びました。これからの高専生活でこれを生かし、様々なことに挑戦していきたいです。



能登青少年交流の家で



海洋実習から 学んだこと

商船学科
若宮 翔

私 は、海洋実習の授業で初めてカッターを漕ぎました。初めて乗った時はオールが予想以上に長くて重く、運ぶだけでも大変でした。さらに、初めて海に出て漕いだ時はオールがすぐに流されてしまい、1人で持ち上げるのは厳しいものでした。しかし、海の中を12人のエンジンで漕ぐことは楽しいことです。12人の息が合うとオール1人にかかる負担は軽くなり、より速く、より遠くへ進むことができるからです。より良い艇を目指すために大切になってくるのは、チームワークやコミュニケーション力だと思います。また、それはクラスの中でも同じことが言えます。これからクラスでどんな問題が起きたとしても、しっかりと受け止め解決し、それを1つの良い経験とし、学校生活で同じようなことが繰り返されないように、クラス内で悪いところは改善していき、良いところはお互いに称え合っていきたいと思っています。そのためにも、まずはしっかりとコミュニケーションを取りながら良いクラスを築き上げていきたいと思っています。



海洋実習（射水）



CFRPの化学分解に関する実験(畔田研究室)



国際インターンシップでの演習風景

次代を担う創造的で高度な実践技術者を 目指してください



副専攻科長
岡根 正樹

本郷キャンパスには、「機械・電気システム工学」と「機能材料工学」の2コースからなる、「エコデザイン工学専攻」があります。専攻科では、本科で学んだ機械系、電気系、化学系、材料系の基礎知識をベースに、より専門的で高度な複合的・融合的な知識を自分のものとし、技術者として必要不可欠な、課題の発見から議論、提案、発展、解決して実質化するプロセス、すなわちエンジニアリングデザイン能力の基礎を身につけてください。



専攻科で身に付けたいこと

エコデザイン工学専攻1年
森田 友真

私は専攻科に入ってから、研究室が変わり研究テーマが変わりました。テーマが変わったことは1からの積み上げになりますので厳しい道のりになることも予想されますが、この厳しい道のりに臨むことも自分を成長させるチャンスととらえています。特別研究やPBL型授業の特別演習では、問題を設定し最善の解決対策を模索していく力を身につけることができ、これにより技術者としての基本的なスキルを向上させたいと考えています。このような実践的な経験を通してグローバルに活躍できる技術者を目指したいと思います。

専攻科で学ぶこと



専攻科長
遠藤 真

新入生を迎え、今年も専攻科が始まりました。専攻科の特徴は「本科から継続した学習・研究を実施できること」、「少ない人数で丁寧な教育指導を受けられること」、「地域・国際学会や国際インターンシップへの参加などの視野を広げる機会があること」などです。専攻科でなにを学ぶのか？ どのように学ぶのか？ 将来の継続的な学びにどのように繋げるのか？ などを常に考えながら学習することを勧めます。専攻科の教育は学生諸君の意欲と熱意に応え得ると自負しています。積極的に、自発的に学び、希望の実現を目指してください。



専攻科での抱負

制御情報システム工学専攻1年
則島 景太

昨年度の本科5年次は卒業研究のため試行錯誤の1年でした。自分で課題を見つけ解決策を考える研究は、先生方から学ぶ授業とはまた違った楽しさがありました。研究成果を何度か学会で発表できる機会もあり、充実した1年だったと思います。専攻科では本科を含め連続した3年間の研究が続けられる特徴を生かしつつ、新たな方向からも研究に励んでいきたいと思っています。

海外からの友達と東京の生活

私はスリランカから来ましたヘランカと申します。昨年の4月に来日して東京日本語教育センターで日本語の勉強をしていました。その学校ではスリランカから来た学生は私1人だけでしたが他の国からは最低でも2人ぐらいいました。はじめはとても不安でしたが、だんだん時間がたったらその学生たちと仲がとても良くなりました。授業中も本当に楽しくて、みんな一緒にがんばって勉強しました。休みにはいろいろな国の料理を作ったりいろいろな場所に行ったりして遊びました。富山でも早くたくさん友達を作って楽しく過ごしたいと思っています。

電子情報工学科3年

ウィーラセカラ・ヘランカ(スリランカ出身)



留学生受け入れの取り組み

富山高専では、両キャンパスの工学系の学科に11名の外国人留学生在学しています。本郷キャンパスには、4年生3人、5年生4人、専攻科生1人の8名が、射水キャンパスには、3年生1人、5年生2人の3名が在籍しています。出身国もいろいろで、マレーシア、ラオス、インドネシア、ベトナム、ブラジル、スリランカの6カ国にわたっています。言語はもちろんのこと、気候や文化・風習も違う日本で、勉強や交流に励んでいます。

タイや、シンガポールからの短期留學生も来ています。短い期間ながら、研究や日本人との交流に頑張っています。



北斗祭の留学生コーナー



北陸地区留學生交流会

Topics

射水キャンパス図書館が リニューアルしました!

新しくなった図書館は情報センターと一体化され、学習環境の集約化が図られています。館内は白を基調にした明るい配色です。書架を閲覧室の東側にまとめ閲覧スペースを広げて、座席数を以前の約70席から93席に増やすことができました。グループ学習室も新設しました。パソコンコーナーのPCは4台から8台に増やし、閲覧室の移動式テーブルは自由にセッティングして用途に応じた使い方ができるようになっています。また、スペースごとの色彩を工夫し、図書館を

明るく機能的な空間にしています。総合メディア教室(旧視聴覚室)は200人が収容できプレゼンテーション機器も充実しました。またウッドデッキのライトコート(中庭)で読書もできるようになっています。新設したエレベーターで2階に上がると第1情報演習室(旧情報センターのプログラミング演習室)と雑誌・新聞閲覧コーナーがあります。リニューアルした図書館へ足を運んでみてください。そして良い使い方を発見したら教えてください。みんなで図書館を育てていきましょう。



学生会活動 新年度を迎えて

本郷キャンパス



Communication力を磨こう!

学生主事
青山 晶子

communicationの語源は、形容詞common(共通の、一般的な)の語源ともなっているラテン語の*communis*(全ての人によって共有されたの意)で、自分の考えを自分以外の人と共有してもらえようとするという意味です。

同質性の高い人で構成される集団には、「言わなくても通じる」心地良さがある一方、「伝える力」を鍛える事は難しくなります。学生時代にこそ、クラブ活動や学生会活動など、意識的に多様性の高い集団、自分とは違った何かを持っている人たちの中に身を置き、コミュニケーション力を磨いてください。社会に出て、人を動かすことが求められるようになった時、多様性が高い組織をまとめ、高い目標を達成する経験が、きっと役に立つでしょう。



学生総会



けじめの年

学生会会長
屋木 悠佑

みなさん、今年度の学生会は富山工業高専と富山商船高専の統合によってできた新学科の学生が中心となって組織される初めての学生会です。「けじめの年」の学生としての自覚を持ち、これまでの学生会の良いところはしっかりと活かします。さらに、それだけで満足をするのではなく、今までにはなかった大きな改革の年にしたいと思います。

改革の第1弾として、今年度からは部活動において入部届を提出することになりました。また、学生会ホームページの作成や学生会報の発行など、様々な広報活動にも積極的に取り組んでいます。

学生会は、高専がより良い学校になるように精一杯努力しますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



球技大会

学生会年間スケジュール

4月	対面式 あいさつ運動 クラブ活動見学ツアー 学生総会
5月	校内球技大会 環境美化活動
6月	北陸地区高専大会社行会
8月	全国高専大会社行会
10月	あいさつ運動 合同球技大会 環境美化活動 ロボコン応援
11月	高専祭(志峰祭)
12月	学生会長選挙
1月	あいさつ運動
3月	学生会誌発行



クラブ見学ツアー



リーダー研修会



合同球技大会



あいさつ運動

平成25年度学生会執行部役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
学生会長	屋木 悠佑	4E	体育局補佐	松葉 寿明	3M
副会長	江淵 文人	3E		浅野 伶奈	2M
総務局局長	福澤 亮太	4E	文化局局長	野上 光博	4E
総務局副局長	高原 小夜	3C	文化局副局長	河原 圭吾	3E
書記渉外	雨宮 加奈	3C	補佐	坪田 光一郎	2C
補佐	碓井 直人	2C	広報局局長	竹村 沙友理	4M
	藤樫 咲蘭	2C	広報局副局長	安川 諒	3E
会計局局長	栗本 将宏	4C	補佐	杉本 悟	2E
会計局副局長	佐々木 翔也	3C		高木 瞭	2C
補佐	福田 侑美香	2C	風紀局局長	岩崎 祐太	4C
体育局局長	村田 智明	4E	風紀局副局長	松井 秋一郎	3M
体育局副局長	明 卓摩	3E	高専祭実行委員長	中川 尚大	4E
			高専祭副実行委員長	赤羽 里夢	4E



ゴジラに学ぶ

学生主事
水谷 淳之介

学生時代に指導教官から「得意淡然・失意泰然」という言葉を教わった。物事がうまくいっている(得意の)ときはおごらずにつつましい態度で、うまくいかない(失意の)ときは落ち着いてゆったりと構えなさいという意味だ。

そういえば松井秀喜は、高校時代に甲子園で5打席連続敬遠されチームが敗退したときも、感情を抑えインタビューに応じ、メジャー移籍後の初本塁打に満塁本塁打を打ったときも、淡々とダイヤモンドを回っていた。常に相手を思いやる松井の謙虚な振る舞いは、アメリカの記者からも絶賛されている。そして国民栄誉賞受賞のインタビューでは、輝かしい栄光の場面ではなく「長島監督と2人で素振りをした時間」を1番の思い出に挙げた。ゴジラからまた学ばせてもらった。



北斗祭



故きを温ねて、新しきを知る

学生会会長
篠崎 雅

2009年に富山高等専門学校として統合して以降、いよいよ私たち1期生が学校の中心を担う年になりました。学生会は様々な行事運営に携わりますが、あくまで縁の下の力持ち。全学生が主体となって楽しめるような行事運営を心掛けたいものです。今年度は本キャンパスでの北斗祭は開催されませんが、その分カッターレース大会や球技大会など伝統の行事を引き継ぎ、その中でさらに新しいことができたと思います。みなさんのアイデアも随時募集中! これまでの「富山商船」の伝統を残したまま、これからの新しい「富山高専射水キャンパス」をみんなで盛り上げていきましょう。



カッターレース

学生会年間スケジュール

4月	対面式 クラブ活動紹介
5月	前期クラブ予算会議 自転車置き場点検等
6月	球技大会・体育祭 校門指導 海浜清掃
7月	カッターレース大会
8月	全国大会壮行会
10月	合同球技大会 後期クラブ予算会議 ロボコン東海北陸地区大会応援 海浜清掃
11月	高専祭(志峰祭) 校門指導
1月	学生会長選挙
2月	学生会誌発行



球技大会



海浜清掃



学生会長選挙



校門指導

平成25年度学生会執行部役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
学生会長	篠崎 雅	K4	交通委員長	浦田 風香	K4
副会長	池崎 祥希	S4	副委員長	田邊 歩	S4
書記	新川 真衣	K4	文化委員長	小林 直樹	I4
	小泉 葵	K3	副委員長	浦畑 清楓	S4
会計	宮田 麻美	K4	生協委員長	筏 智美	K4
	筏井 絵梨	K4	副委員長	吉井 健太	I4
総務委員長	脇坂 瑠海	S4	風紀委員長	弘光 夏子	I4
副委員長	菅澤 洋平	I4	副委員長	石川 智也	S4
副委員長	五百崎 太郎	I3	体育委員長	梅田 裕平	K4
美化委員長	今井 航	S4	副委員長	前川 祥太郎	S4
副委員長	藤井 瞳	I4	副委員長	神田 侑希	S4
			副委員長	北野 京香	S3

学生寮から 新年度を迎えて

仰岳寮(本郷寮生会)



便利さとしきたり

寮務主事
高熊 哲也

昨年度末に設置したモニターを新年度から運用開始しています。まだ未調整の部分もありますが、行事の日程通知や郵便物・配達物の到着案内を流しています。部屋の前や下足棚にメモを貼る方式よりも、合理的で便利な方法であることは確かですが、運用や寮生諸君の情報キャッチのあり方がまずいと、せっかくのツールもうまく機能したことにはなりません。学生寮には長い年月をかけて形作られた習慣やきまりごとがたくさん存在します。それぞれのしきたりは必ず何らかの必要があって生まれてきたものです。一見不合理に見えるものでも、どうしてそういうことになっているのかを考えれば納得のいくこともありますし、やっぱり時代に合わなくなったものもあります。寮生諸君とともに、よい環境を作るために、不断に現状を見直していく姿勢を大切にしたいと考えています。



新入寮生歓迎会



寮生活を通して学ぶ

仰岳寮総代
村田 智明

現在、富山高等専門学校本郷キャンパスの仰岳寮には、計143名の学生達が生活しています。日々の生活の中心は学業ですが、寮生のほとんどは放課後に部活動に参加しており、どの学年も充実した毎日を送っています。また、私たちの生活している寮には、球技大会や相撲大会、焼き肉会などの様々な行事があり、上級生と下級生が関わる機会がたくさんあります。日々の生活で礼儀作法や学年ごとの役割分担を通して、社会人としての基礎力も身につけることができます。そのような面もあり、寮は様々なことが学べる素晴らしい場所であると思います。目標に向かって仲間たちと様々なことにチャレンジできる寮生活は、高専の大きな特色であるといえます。



餅つき会

年間スケジュール

4月	新入寮生オリエンテーション、開寮 新入寮生歓迎会、寮議会
5月	寮生会総会、球技大会(第1回) 学生寮避難訓練
6月	ボランティア活動(町内清掃)
7月	焼肉会
8月	寮内大掃除、閉寮 学寮だより第59号発行
9月	開寮
10月	相撲大会、仮装行列(高専祭(志峰祭PR))
11月	高専祭(志峰祭)(2~3日)、すき焼き会
12月	餅つき会、寮内大掃除、閉寮
1月	開寮、成人祝賀会 球技大会(第2回)、予餞会
2月	寮内大掃除、閉寮 学寮だより第60号発行
3月	閉寮、たいわ第46号発行



新入寮生オリエンテーション



成人祝賀会



ピアノ演奏



予餞会

寮生会役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
総代	村田 智明	4E	会計	山口 絵莉子	4C
副総代	山田 大貴	3E	文化委員長	水越 隆仁	4E
1号館寮長	山口 絵莉子	4C	体育委員長	室山 峻紀	3C
副寮長	松本 彩	3C	厚生委員長	若田 浩樹	4E
	勝田 美優	2E	規律委員長	齋藤 誠	4C
2号館寮長	井田 史哉	4M	ネットワーク管理委員長	福澤 亮太	4E
副寮長	明 卓摩	3E	総会議長	井田 史哉	4M
3号館寮長	城川 将司	4C	会計監査委員長	中本 翔	4E
副寮長	宮原 康輔	3C	専攻科委員	日影 薪	2EC
4号館寮長	朴木 太郎	5E	指導寮生	井田 史哉	4M
副寮長	舟木 翔太	5E		若田 浩樹	4E
留学生責任者	トゥアン	5E		水越 隆仁	4E
総務	松本 彩	3C		齋藤 誠	4C

和海寮(射水寮生会)



対番制度

寮務主事
水本 巖

新寮生も次第に寮生らしくなってきました。今年は例年に増して多くの新入生が入寮したため、従来の各階のフロア委員だけでは、生活指導や日々のルールの徹底が不十分になることが予想されたことから、2年生と1年生でペアを組ませて、指導にあたる対番制度を実施しました。1年生を対番、2年生を対番学生と称し、清掃の徹底、寮内でのあいさつ等の指導は、主に対番学生を通じて指導します。見ていると対番学生になっている2年生は、自分が指導する立場になったためか、例年と比べても一段と頼もしくなったように感じます。率先垂範・活模範、これからも良き手本となって、お互いに成長していってほしいと願っています。



新入生歓迎会



Life of the 寮生
by the 寮生 for the 寮生

学寮会長
福谷 龍

学寮会を学生主体のものにするために改革を始めて3年、ようやく軌道に乗り始めました。組織の外枠が定着し、いよいよ今年は寮の在り方や寮生の在り方といった内側の部分に目を向けようと考えています。自主自立した寮生活を過ごせるようになるのが3年前からの改革の最終目標です。今年から「対番」というシステムを新しく導入しました。これは、1年生1~4人につき1~2人のアシスタントの2年生がつくというものです。これにより2年生の責任感と指導力を培うのがねらいです。初めての試みなので試行錯誤も多いと思いますが、1人1人が少しでも自主自立した生活を送れるように学寮会としてサポートしていきます。



ハロウィンパーティ

年間スケジュール

4月	開寮、入寮式 新入生オリエンテーション 新入生歓迎夕食会、学寮防犯講習会 寮内大掃除、閉寮
5月	開寮、学寮防火訓練、テレビ登録点検 自転車登録点検、関西親睦会
6月	1年男子部屋移動、学寮会総会 服装など校門指導、寮内大掃除
7月	学寮花火大会、北陸地区高専体育大会 カッターレース大会
8月	5年生激励夕食会、寮内大掃除 課程修了、閉寮
9月	開寮、全寮部屋移動、寮内大掃除
11月	学寮防災訓練
12月	クリスマス会、閉寮
1月	開寮
2月	閉寮



花火大会



クリスマス会



防火訓練



防災訓練

学寮会役員

役職	氏名	クラス
学寮会長	福谷 龍	S4
第二寮長兼副会長	池崎 祥希	S4
女子寮長兼副会長	筏 智美	K4
放送委員長	山村 諒太	S4
環境委員長	舟根 優作	I4
会計長	高村 佑樹	S4
風紀委員長	田邊 歩	S4
3寮長	杉本 亘	S3
女子フロア長	石黒 絵里香	S4
文集委員長	折口 美里	K3
庶務委員長	前 亜都羽	K4
企画委員長	弘光 夏子	I4
IT管理委員会	川田 悠太	I3
選挙管理委員長	浦畑 清楓	S4

新任教員紹介

■ New Teachers



本郷キャンパス
一般教養科准教授
橋本 伊都子

着任にあたり

4月1日に富山高等専門学校に着任しました。学部と修士の期間を奈良女子大学で過ごし、博士課程は大阪大学に移り研究を行い博士号を取得しました。その後、大阪の私立大学や金沢大学で研究生を送り、その間、粘性保存則の数学的考察を行って参りました。粘性保存則の応用例としては、交通流問題があり、実際の物理的現象にも結びつきのある問題です。昨年、ドイツで研究生を送らせていただいた期間がありましたが、日々、学問の深さを知ると共に、未知の世界の広さを感じております。学生と共に、多くのことを学んでいきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



本郷キャンパス
教育技術センター助教
定村 誠

新任のごあいさつ

4月1日に教育技術センターの助教として採用されました。3月までは富山高専の産学連携コーディネーターでしたので、今年度からは気持ちも新たに教員として学生の皆さんに接することになります。参加者が話し合ってよりよい合意形成をめざすワークショップという場では、話し合いを促す手法としてファシリテーションという働きかけ方が用いられますが、最近は授業などの中で学生の主体的な学びを促すためのファシリテーションの必要性が指摘されるようになりました。授業の中にどのような形でファシリテーションを導入すればよいのかを考え、学生の皆さんがよりよい学びを得られるよう取り組みます。



射水キャンパス
商船学科助教
山田 圭祐

新任のごあいさつ

今年度4月に富山高専商船学科に着任しました。前年度3月まで大阪府立大学大学院工学研究科(博士課程)に在籍しておりました。在学中は、あらゆるエンジンで用いられる燃焼形態である噴霧燃焼について、ミクロの観点から基礎的な実験研究を行っておりました。本校では、この研究を発展させ技術面、環境面から社会貢献するとともに、世界を舞台に活躍できる学生を育てるため、学生の教育指導に全力で取り組もうという気概でいます。皆様、ご指導のほどよろしくお願いたします。

学級担任一覧

本郷キャンパス

	機械システム工学科	電気制御システム工学科	物質化学工学科	学年主任
第1学年	担任 日比端洋 副担任 高橋勝彦	河原 治 百生 登	津森辰子 安田賢生	長谷川貴之
第2学年	担任 瀬戸 薫 副担任 寺西恒宣	立野 彰 北村拓也	足立蘭子 河合孝恵	立野 彰
第3学年	古川文恵	池田英俊	後藤道理	
第4学年	増山圭一	藤崎明広	森田康文	
第5学年	井澤正樹	金子慎一郎	中島栄次	環境材料工学科 高廣政彦
専攻科	エコデザイン工学専攻 機械・電気システム工学コース 高田英治・石田文彦	機能材料工学コース 畔田博文・袋布昌幹		

射水キャンパス

	電子情報工学科	国際ビジネス学科	商船学科	学年主任
第1学年	担任 篠川敏行 副担任 小熊 博	横田敦弘 緒方 薫	大橋千里 山田圭祐	金子龍一
第2学年	櫻井秀人	西原雅博	近藤周吾	河合 均
第3学年	クーパー トッドドゥイン	モアナス チャールトン ビル	眞岩一幸	
第4学年	的場隆一	海老原毅	河合雅司	
第5学年	商船学科 笹谷敬二	電子制御工学科 石田弘樹	情報工学科 山口晃史	国際流通学科 岡本勝規
実習生	経田慎昭			
専攻科	制御情報システム工学専攻 由井四海	国際ビジネス学専攻 宮重徹也	海事システム工学専攻 遠藤 真・山本 桂一郎	



能登合宿研修風景



球技大会(射水) 撮影:中前心祐君(商船学科1年)

Toyama Kosen News&Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。(http://www.nc-toyama.ac.jp/)

「ユース・フォーラム2013 in とやま」 で最優秀賞等を受賞



授賞式後の記念撮影

5月19日、富山県総合福祉会館において「ユース・フォーラム2013 in とやま」が開催され、本校から参加した3名の女子学生が最優秀賞等を受賞しました。今回のテーマである「日本の心 一心との対話、心に届くことば一」についての論文発表とディスカッション時の発言が評価されたものです。

なお、最優秀賞を受賞した矢谷美央さんは、国際ソロプチミスト富山の推薦により、7月に京都で開催される日本中央リジョンのフォーラムに派遣され、各地フォーラムで選ばれた女子高校生とこのテーマについて議論を交わします。

〈最優秀賞〉 矢谷 美央(国際ビジネス学科2年)
〈審査員特別賞〉 猪又 萌里(国際ビジネス学科2年)
〈優良賞〉 小泉 葵(国際ビジネス学科3年)

全国高等学校将棋選手権県大会で優勝!



全国高校総文祭出場決定!

5月25日、第49回全国高等学校将棋選手権大会富山県大会が北日本新聞社で開催され、本校の囲碁将棋部が出場し、男子団体戦(3人制、湊開誠君(機械システム工学科2年)、高島慧也君(機械システム工学科3年)、野村俊光君(物質化学工学科2年)が出場)では優勝、男子個人戦では能村省吾君(物質化学工学科2年)が3位に入賞しました。この結果、男子団体戦で優勝した3名は、7月31日~8月1日に長崎県で行われる、全国高等学校総合文化祭将棋部門に富山県代表として出場します。チームをまとめた高島君は「総合力を発揮できました。全国大会でも活躍したい。」と話しています。

なおこの大会では初中級者による男女混合のリーグ戦もあり、須藤晃平君(物質化学工学科1年)が優勝しました。

シーケンス制御技能検定試験3級に合格しました



校長室での授与風景

シーケンス制御技能検定試験において、本校の電気制御システム工学科の学生5名が3級に合格しました。合格者は次の通りです。

木村 暢秀、高田 圭志郎、海老 晃行(電気制御システム工学科3年)

武田 雄佑、城生越 真由(電気制御システム工学科4年)

短期留学生を受け入れ



ナンヤンポリテクニクからの留学生のウェルカムパーティ

射水キャンパスは、タイ・キングモンクット工科大学から4名の短期留学生を受け入れました。4月17日から約1カ月半にわたり、国際ビジネス学科の指導教員のもと、自身の研究テーマについて研究しました。研修期間中には、留学生によるタイ語講座も開かれました。

また、5月19日から約3カ月にわたり、シンガポール・ナンヤンポリテクニクから4名の短期留学生を受け入れました。留学生は学生寮で生活をし、電子情報工学科の指導教員のもと研究をすすめています。

表紙：球技大会(本郷キャンパス)

第5回高専祭(志峰祭)が開催されます。 ■開催日：11月2日(土)、3日(日)
■場所：本郷キャンパス

Editor's room 編集後記



年も大勢の新生が入学してきました。この高専通信が発行される頃には、学校生活にもだいぶ慣れてきている頃かと思います。先輩たちのよいところは見習い、自分たちなりの新しい風も入れていって、よりよい学校をつくってほしいと思います。

学校ではいろいろなことが行われています。学生たちも、日々頑張っ

ています。そういった情報をすべてこの高専通信に盛り込むことはできません。ぜひ、学校のホームページもご覧になってください。また、ご意見、ご要望などがありましたら、広報戦略室までお寄せください。今後の参考にさせていただき、よりよい広報物にしていきます。

広報戦略室 寺崎 由紀子

問い合わせ先

本郷キャンパス：〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402
射水キャンパス：〒933-0293 富山県射水市海老江総合1番2 TEL 0766-86-5112

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>



富山高等専門学校

OPEN CAMPUS 2013 夏季オープンキャンパス

夢みる力をつくる力へ

本郷キャンパス

8月10日(土)・11日(日)

午前の部 9:00~11:40、午後の部 13:00~15:40

射水キャンパス

8月7日(水)・8日(木)・9日(金)

9:00~11:40

OPEN CLASS オープンクラス概要 各学科のどちらかのコースを選択してください。

本郷 機械システム工学科

- コース1 巨大ロボットの作り方 ~巨大ロボットは大地に立つか~
- コース2 「体験!! 3次元CAD」 ~コンピュータでものづくり~

本郷 電気制御システム工学科

- コース3 身近な電気をわしづかみ! ~手作りラジオで放送を聞いてみよう~
- コース4 「ロボカーの冒険」 ~ロボカーでラインを追跡~
- コース5 雷センサーをつくらう

本郷 物質化学工学科

- コース6 色素や匂いを活性炭で吸着してみよう!
- コース7 紫キャベツで化学実験 ~虹の色を作ろう~

射水 電子情報工学科

- コース8 自分の声を目で見てみよう
- コース9 ロボットの頭脳とは~LEGOを使ったプログラミング実験~
- コース10 はじめての電子工作
- コース11 ネットワークで遠隔操作しよう

射水 国際ビジネス学科

- コース12 異文化について学ぼう

射水 商船学科

- コース13 若潮丸体験航海と洋上授業

射水 一般教養科

- コース14 English at Kosen (高専で英語)
- コース15 やさしい英語 絵本で身につけた英語で海外留学は十分いける!
- コース16 国語の教科書を読みなおす~「走れメロス」は盗作か?~



申込・お問い合わせ

本郷キャンパス学務課

TEL 076-493-5498 FAX 076-493-5488
E-mail:gaku@nc-toyama.ac.jp

射水キャンパス学生課

TEL 0766-86-5145 FAX 0766-86-5130
E-mail:nyushi@nc-toyama.ac.jp

School Calendar 学年暦

月	本 科	専 攻 科	学 外 行 事
4	入学式 新入生オリエンテーション 定期健康診断	始業式 前学期授業開始	入学式 前学期授業開始 定期健康診断
5	1年生合宿研修 校内球技大会(本郷)	交通安全講習会 推薦入試	校内球技大会(本郷)
6	前学期中間試験	校内球技大会(射水)	学力入試 校内球技大会(射水)
7	前学期期末試験(7・8月) 保護者懇談会(本郷)	カッターレース	前学期期末試験(7・8月) カッターレース
8	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)
9	卒業式(商船学科)	保護者懇談会(射水)	修了式(海事システム工学専攻)
10	後学期授業開始 県外工場見学(4年生) 日帰り研修(2年生)	合同球技大会 県内工場見学(3年生) 消防訓練	後学期授業開始 合同球技大会 消防訓練
11	第5回高専祭(志峰祭) 後学期中間試験(11・12月)	企業研究会 秋季オープンキャンパス	第5回高専祭(志峰祭) 企業研究会
12	冬季休業(12・1月)		冬季休業(12・1月)
1	推薦入試	学習到達度試験(3年生)	
2	後学期期末試験 卒業研究発表会 卒業式(射水:商船学科を除く)	終業式 学力入試	後学期期末試験 特別研究発表会 修了式(射水:海事システム工学専攻を除く)
3	リーダー研修会	卒業式(本郷)	修了式(本郷)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。